

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	危機管理室	部長名	南野 徹
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針 今後、本市に最も大きな被害をもたらすであろう地震災害に備えた、災害体制の構築等に重点を置き、特に職員と地域防災力（消防団・自主防災組織等）との連携強化を図り、より実践的な訓練を行うことで課題点を洗い出し修正することで、災害時に、迅速で的確な対応を可能なものとする。 また、災害時等の災害対応能力の向上及び市民への災害情報の伝達力の強化は、防災支援システム及び防災アプリ等（以下、「システム等」という。）の運用及び防災訓練により、大東での暮らしをどこよりも安全・安心なものとする。
--

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%	
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%		
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和6年度の取組方針	令和6年度の取組実績
令和6年1月1日午後4時10分ごろ、能登半島沖を震源地とするマグニチュード7.6、最大震度7を観測した『令和6年能登半島地震』において得られた教訓を基に、計画・マニュアル等の整備を行うとともに、各種関係機関、災害協定先と連携した防災訓練により計画類等の検証を行うとともに、本市職員の防災力の向上を図る。 また、地域防災力の向上として、避難体制の充実を図るため、自主防災組織と連携し、地区防災計画等の作成の推進に努めるとともに、災害弱者の避難率を上げるための、個別避難計画の作成を推進する。	令和6年能登半島地震の教訓を基に、各種関係機関、災害協定先と連携した物流、医療及びペットの同行避難の防災訓練を実施し、計画・マニュアル等の整備に努めた。また、能登半島地震に派遣した職員の経験談を基に自主防災組織及び職員を対象とした報告会を開催し、防災力の向上に努めた。 さらに、本市地域防災力の向上、避難体制の充実を図るため、自主防災組織と連携し、地区防災計画等の作成の推進に努めるとともに、災害弱者の避難確保ため、個別避難計画の作成を積極的に推進した。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	政策推進部	部長名	野村 政弘				
1. 中長期的な取組方針							
第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本的な考え方を踏まえ、「選ばれるまち」として機動性と先進性、柔軟性を備えた戦略を推進し、大東に住む人、大東に関わる人を一人でも増やしていくことができるまちづくりを展開する。 1）大東が他市に先駆けて取り組んできた「公民連携」「住民自治」の発想により、多様な関わりをまちづくりに取り入れていく。 2）誰も排除されず、あらゆる人が自分が生きたいような生き方を選択できる社会を作る。大東の中で培われてきた自主性の尊重、自発的な協力や取引を重視し、市民により近いところで課題解決に取り組む。 3）魅力的な大東市になるためにオープンでコラボティブ（公民連携）で多様な能力や資格を持った人々が参画する仕組みを整える。 4）行政を再発見し、効率や競争力を重視するのではなく、実際の効果、アウトカムを測る。共感を軸として機能するように市民を取り巻く環境、状況を包括的に理解しデザインする。							
2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上 （目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上 （目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
健康寿命の延伸 （目標値）	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
（実績値）	平均寿命 男性：85.9歳 女性：86.4歳 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	平均寿命 男性：85.7歳 女性：87.6歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：82.7歳	平均寿命 男性：85.7歳 女性：87.6歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：82.6歳	—	—		
市民の経済力の向上 （目標値）	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上
（実績値）	課税対象所得府内平均以下（平成29年）	課税対象所得府内平均以下（令和3年）	課税対象所得府内平均以下（令和4年）	課税対象所得府内平均以下（令和5年）	—		
人口構成バランスの適正化 （目標値）	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減		
3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度 （目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%	
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%		
（目標値）							
（実績値）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
駅前の地価の上昇 （目標値）		18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.7万円 25.5万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円 四条畹駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円	
（実績値）	四条畹駅18万円 野崎駅16万円 住道駅25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25.5万円	18.5万円 16.5万円 27万円		
住みたい自治体ランキング 関西版 （目標値）						30位以内	
（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外		
【重点分野】							
確かな学力の向上と教育環境の充実							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合 （目標値）						国平均以上	
（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 高：85.8% 小：81.9% 中：81.1% （令和元年度）	大東市 小：78.7% 中：75.0% 高：83.4% 小：81.1% （令和元年度）	大東市 小：81.5% 中：74.2% 高：85.4% 小：82.9%	大東市 小：82.5% 中：74.5% 高：86.3% 小：81.8%	大東市 小：75.9% 中：79.5% 高：84.8% 小：82.8%		
（目標値）							
（実績値）							
【重点分野】							
総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
経常収支比率の改善（フロー） （目標値）						大阪府平均以下	
（実績値）	大東市 99.0% 大阪府 95.7%	大東市 98.9% 大阪府 92.0%	大東市 97.2% 大阪府 94.5%	大東市 99.6% 大阪府 94.4%	—		
将来負担比率の維持（ストック） （目標値）		将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	
（実績値）	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	—		
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかもの） （目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%	
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%		
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合 （目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%	
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%		
4. 令和6年度の取組方針							
令和6年度の取組実績							
●総合計画・総合戦略の改訂に向けて、これまでの取組の振り返りや今後の改訂の方向性について検討を行った。 ●来年度で計画期間が満了する総合戦略の取組の総仕上げに向け、昨年度に引き続き全庁的な勉強会を戦略企画課、財政課、公民連携推進室の3課で連携して開催し、EBPMや効果的な政策立案にかかる職員の意識醸成を図った。また、昨年度に引き続き、DX人材育成に向けた研修を実施するとともに、庁内での相談会の実施に取り組んだ。 ●複業クラウドを活用し、専門性の高い知見を備えた外部人材と職員がともに行政課題の解決に取り組む仕組みを構築した。広報部門でも本仕組みを活用し、各課からの相談や研修を実施するなど、効果的なPRについての取組を進めた。 ●各課にイベント等の積極的な情報発信を促すとともに、広報誌がテレビに取り上げられるなど、メディアへの露出も増加している。 ●庁舎整備事業の方向性を政策決定し、測量や境界確定、耐震診断についての業務を開始した。							
●大東がさらに元気となるよう、市民の皆さんとともに、めざすまちの姿と現実化に向けた事業展開を構築し、さらなる市民サービスの充実を図る。 ●先駆的な取組や魅力ある施策をはじめ、大東の魅力を市内外に効果的に発信し、大東ファンを増やす取組を推進する。 ●市がめざすべき各種事業の定性的な進捗状況の確認・検証を行うとともに、関係各部との連携を強化し、施策推進の着実な進捗を図る。							

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1 (方針)

部名	総務部	部長名	鳥山 和郎
----	-----	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を支ええる体制構築のため、ICTの活用をはじめとした利用者の利便性の向上に向けた行政サービスの提供に努める。また、そのためには職員の意欲を高め、能力を最大限に引き出すことが不可欠であることから、人材確保・人材育成・キャリア形成支援等が一体となった人材マネジメントの推進に取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%	53. 7%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%	55. 7%	
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化	（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
	（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%	
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和6年度取組方針	令和6年度取組実績
将来的な労働力の減少を見据えると、業務の効率化は不可欠であることから、デジタル化を中心とした業務の効率化に引き続き取り組んでいく。 また、それを実現するためには、原動力となる職員の意欲の向上が重要であることから、組織マネジメントを強化するとともに、人材確保や長時間労働の抑制、ワークライフバランスの充実等、様々な側面から労働環境の改善を図っていく。	総務部では、第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を支ええる体制の構築に向けてICTを活用した業務の効率化や高度化、行政サービスの提供に資する施策に取り組んできた。 その一つとして、デジタル化を更に推進するため、出退勤システムに電子決裁を導入した。また、人材確保のため、技術職については、随時募集に切り替える等を行った結果、正職員数については、一定の採用予定数を確保することができた。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	市民生活部	部長名	木村 吉男
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、未来につなぐ環境づくり、環境にやさしいまちづくりを目指し、引き続きプラスチックごみ削減の取組み「だいたうプラスチックごみゼロ宣言」を実行するとともに、令和6年4月から実施したペットボトルの水平リサイクルの目的・効果等を広く市民に発信し、環境意識の醸成に繋げる。また、地域の脱炭素化を目指し、令和5年度に策定した大東市地球温暖化対策実行計画に基づき、本市をはじめ、住民・地域企業など地域が主体となって積極的に脱炭素に取り組む仕組みを構築し、カーボンニュートラルを目指す企業の立地、投資上の魅力を高めるなど、地域産業の維持向上につなげるとともに、省エネ・創エネを推進し、二酸化炭素排出量の削減等を目指す。加えて、本市の産業等活性化や環境保全に資することを目的に、令和6年4月から実施した地下水採取の規制緩和について、地域資源としてのまちづくりやブランド化に繋げていく。更には、まちに対する市民の愛着の醸成をはかるために市民協働・住民自治の取組を進め、市民の皆さんが地域に関心を持ち、地域の人と人とのつながりを基にして助け合い、支えあうことができる住み良い地域社会づくり、自治会加入の促進を図るとともに、安全で安心な住みよい地域社会の実現のため、防犯カメラの設置を計画的に進めていく。行政サービスのデジタル化のさらなる進展のために中核となるICTを活用した行政サービスに寄与するマイナンバーカードの取得促進、窓口予約制等の滞留時間短縮の仕組みを更に充実させるべく引き続き関係部署と連携し、便利で快適な窓口環境の構築およびDX化の推進に寄与する。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住みたい自治体ランキング関西版（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	
資源化率（目標値）		17.3%	18.0%	18.7%	19.4%	20.1%
	（実績値）	16.6%	17.6%	17.00%	17.2%	集計中
市内の温室効果ガス排出量削減率（目標値）		38.2%	38.4%	49.8%	51.6%	53.4% (R12.62%)
	（実績値）	49.0%	45.0%	48.0%	46.80%	集計中
交通災害共済の加入率（目標値）		26.5%	27.0%	28.0%	29.0%	30%
	（実績値）	26.2%	25.1%	24.3%	23.37%	集計中
マイナンバーカードの普及率（目標値）		50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	83.0%
	（実績値）	28.2%	43.0%	64.2%	76.14%	集計中

【重点分野】						
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）						
【K P I】（令和7年度）	当初（R 2）	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%	
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	（目標値）					
	（実績値）					
	（目標値）					
	（実績値）					

4. 令和6年度の取組方針	令和6年度の取組実績
● 市民が安全・安心に生活できる環境にやさしい持続可能なまちを目指し、SDGsのゴール・ターゲットを意識し、全ての事業を実施する。 ● 常に、部全体での情報共有、人材育成を意識し、率先して職員とのコミュニケーションを図ることで、相談しやすい、安心感のある職場を構築する。また、本市の住みよいまちづくりに必要な施策を総合的に検討し、部に属する職員が集い、考え、話し合うことで組織の活性化、職員の能力向上等を目指し、令和2年度より実施している部全体の勉強会を定期的に実施する。 ● 各課が抱える課題解決へ向け、具体的な成果を表すことで、職員が誇れる職場を構築する。 【具体的な施策】 ①市民協働・住民自治の充実、②交通災害共済の加入率向上（自転車用ヘルメットの普及促進）、③ペットボトルの完全分別収集、④地球温暖化対策実行計画の推進、⑤河川美化の推進、⑥マイナンバーカードの普及促進および窓口業務改善（DX化）	①市民・関係団体等と行政が協働で実施する「市民まつり」を11月に開催。推計で24,000人が来場された。アンケート結果において満足が80%を超え、実施日を秋に変更したことも評価を得た。また、提案公募型委託事業を実施し、だんじりの保存や空家対策、里山保全・都市緑化など行政では困難なきめ細やかな市民サービスを提供。 ②交通災害共済加入率22.82%。加入率は微減傾向だが、令和6年4月1日より交通災害共済加入者のインセンティブとして実施した「自転車用ヘルメット購入補助事業」は申請件数が500件を超え、市民の安全確保にもつながった。 ③ペットボトルの完全分別収集を令和6年4月から導入済。資源の有効活用、ごみの削減、環境保護を市民とともに実施。 ④地球温暖化対策として、太陽光パネル導入可能性調査業務、再エネ電力共同購入協定締結、地球温暖化対策啓発動画作成、マイボトルの普及啓発協定締結など様々な事業を実施 ⑤恩智川クリーンリバープロジェクトを実施するとともに、Go!Go!タイトルGo!を活用し合計21回の河川清掃を行った（329袋のゴミを回収） ⑥マイナンバーカード取得促進策として月に1回、日曜窓口を開設。交付率83.59%。また、窓口業務のDX化として、キャッシュレス決済対応POSレジを2/1から導入。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	市民生活部（人権室）	部長名	佐々木 由美
----	------------	-----	--------

1. 中長期的な取組方針							
「第5次大東市総合計画」の基本目標である、一人ひとりの幸せの実現を図るため、人権行政基本方針に基づき、多様化、複雑化する人権問題に対する取組を進めるとともに、市職員の意識向上を図り、すべての人の人権が大切にされ、多様性を認め合うまちづくりの推進に努める。さらに、差別事象に対して的確な対応を行い、人権教育・啓発の取組を推進する。また、市民、関係機関との協力、連携を深め、まちづくりに関わる様々な主体が一丸となった人権尊重のまちづくりを進めていく。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
住みたい自治体ランキング 関西版（目標値）							30位以内
（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外		
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%	
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%		
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和6年度の取組方針		令和6年度の取組実績
●人権行政基本方針に基づく、各事業の取り組み状況の把握 ●部落差別（同和問題）をなくすための啓発冊子の作成 ●男女共同参画の推進 ●市民協働の人権啓発活動の推進 ●犯罪被害者等への支援の検討		●人権行政基本方針に基づく、各事業の取組 市民の基本的人権の確立・保障に関わっているという認識に立って施策に取り組んでいるか、各課へ照会を実施し、精査した。 ●部落差別（同和問題）をなくすための啓発冊子の作成 部落差別に関する市民意識調査を実施し、人権擁護施策推進審議会にて審議を重ねながら調査結果報告書及び啓発冊子を令和7年3月発行した。 ●男女共同参画の推進 計画の進捗状況について市のHP等で公表した。また、人権室の担当である施策の達成率を上げるよう尽力した。 ●市民協働の人権啓発活動の推進 新たな取り組みとして人権啓発ネットワークおよび大阪産業大学の学生と協働でヒューマンコンサートを企画・運営を行うことで若者視点での人権啓発を行った。 ●犯罪被害者等への支援の検討 他市の支援状況を情報収集し、支援内容を検討した。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	福祉・子ども部	部長名	田中 正司
----	---------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第2期大東市まち・ひと・しごと・創成総合戦略の重点分野である、「出産や子育ての安心と魅力の創設」の実現に向け、子育て世代が安心して子どもを産み育てることのできる多様なこども施策の推進により、「子育てするなら、大都市よりも大東市。」のブランド力の強化と定着を図る。このため、こども家庭センター「ネウボランドだいとう」を中心とした、妊娠・出産から子育てに至る切れ目のない支援体制の強化と、全ての子どもたちが未来に希望をもって成長することのできる支援メニューの拡充に取り組む。

また、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応できる、包括的な支援体制を構築するため、介護・障害・子ども等の分野における既存の相談支援の取組を活かした、「重層的支援体制整備事業」を推進する。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減		

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】							
出産や子育ての安心と魅力の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
年間出生数（目標値）		839人	887人	920人	960人	1,000人	
（実績値）	799人	780人	724人	727人	661人		
若年者層（0～14歳・20～44歳）の社会増減（目標値）		社会増	社会増	社会増	社会増	社会増	
（実績値）	△404人	△428人	△263人	△326人	集計中		
「保育環境が充実した子育てしやすいまち」と感じる人の割合（目標値）		26.6%	33.9%	41.3%	48.6%	56%	
（実績値）	19.2%	20.4%	19.0%	24.3%	22.7%		

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和6年度取組方針

令和6年度取組方針	令和6年度取組実績
子育て世帯が子どもを安心して産み育てられる「幸せのまち大東」の実現に向け、「ネウボランドだいとう」を中心とした、妊娠・出産から学齢期までの切れ目のない相談支援体制の強化を図るとともに、本市におけるこども政策の指針である「第3期大東市子ども・子育て支援事業計画」の策定や「子ども基本条例」の改正に取り組み、こども目線によるこども施策の具体化を図る。合わせて、これらの取り組みに関する認知度を高めるため、子育てアプリを積極的に運用し、市の子ども・子育て施策を広くPRする。 また、地域共生社会の実現に向けた、重層的支援体制整備事業の推進のため、相談支援機関相互の連携を目的とした、多機関協働事業を実施する。	歴史とスポーツふれあいセンター及び図書館の協力を得て、「出張ネウボラ」を開催し、来館者から子育て相談を受け、好評を得た。また、5歳児アンケートを通じ、子育て世帯の就学前での困りごとを拾い上げ、フォローが必要な場合については、個別相談を実施し、不安や悩みの解消を行った。今年度から発足した「こども家庭センター（ネウボランドだいとう）」において、家庭児童相談室、家庭・地域教育の支援、母子保健事業、子育て支援拠点施設（子育て支援センター、つどいの広場）等との効果的な事業連携や、子ども食堂で行われている学習支援等、様々な子育て支援の取り組みの集約を図った。 生活困窮者支援については、生活困窮者の自立と尊厳の確保に向けて、本人との協働によるプランを策定し、一人ひとりの状況に寄り添った個別的かつ包括的な支援を行い、関係機関との連携やつながりによるセーフティネットを構築した。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	保健医療部	部長名	北田 吉彦
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針							
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「健康寿命の延伸」のために、これまで取り組んできた健康づくりの素地をアドバンテージとして、人生１００年時代を先導する心も身体も元気なまちを築いていく。そのためにはそれぞれの身体状況や生活状況に応じて活躍できる場や交流できる場を創出し年齢に関わらず社会に様々な形で参画機会を設ける。このことにより、生きがいや楽しみ、ひいては心の健康・身体の健康につなげ、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の構築を目指す。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	
健康寿命の延伸	（目標値）	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
	（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：86.4歳 （平成27年） 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.6歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：83.7歳	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.5歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：83.6歳	—	—	
人口構成バランスの適正化	（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減	

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）							
【重点分野】							
健康寿命の延伸							
【ＫＰ１】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
健康寿命の延伸	（目標値）	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	
	（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：86.4歳 （平成27年） 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.6歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：83.7歳	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.5歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：83.6歳	—	—	
特定健康診査受診率	（目標値）	33.5%	33.8%	34.1%	34.0%	35.1%	
	（実績値）	30.3%	31.2%	31.8%	31.7%	21.4%(R7.2月末までの請求分)	
主観的な健康感（健康だと感じる人の割合）	（目標値）		79.2%	80.9%	82.6%	84.3%	86%
	（実績値）	75.7% （令和元年度）	—	73.5%	—	—	
【重点分野】							
出産や子育ての安心と魅力の創出							
【ＫＰ１】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年	Ｒ４年	Ｒ５年	Ｒ６年	Ｒ７年	
年間出生数	（目標値）	839人	887人	920人	960人	1,000人	
	（実績値）	799人	780人	724人	727人	661人	
	（目標値）						
	（実績値）						
【重点分野】							
【ＫＰ１】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
	（目標値）						
	（実績値）						
	（目標値）						
	（実績値）						

4. 令和６年度 の取組方針	令和６年度の取組実績
「第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、特定健康診査をはじめとする各種検診受診率の向上に努めるとともに、高齢者の介護予防にかかる各種施策を充実させることで、平均寿命の伸びを上回る「健康寿命の延伸」を図る。	がん検診では、令和５年度に引き続き自己負担額を完全無償化し、勤奨・再勤奨を個別通知を行うなど受診者数は例年よりも上昇しており、特定健診では、ナッジ理論を活用した勤奨・再勤奨を行うとともに、レセプトと過去の受診歴から医療機関分析を行い、かかりつけ医からの受診勧奨依頼を実施した。 また「健康寿命の延伸」の取り組みとして、『高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施』、『地域包括支援センターにおけるICTを活用した介護相談機能の強化』、『ICTを活用した高齢者の孤立化防止』、『認知症サポーター・生活サポーター活動のさらなる推進』、『お風呂で元気事業のさらなる推進』を具体的施策に掲げ、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターが行う介護予防や地域活動にコーディネートする各種取組みと連動する形で行い、おおむね目標に到達している。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	都市経営部	部長名	東 克宏
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針
行政主導の大きな開発で経済を回すシンプルな1つの渦から小さな経済の渦がシンクロし、相互に干渉・共鳴して面（エリア）を活性化させる。この小さな渦は民間のノウハウや資源と大東市が有する資源、特に公園、道路など公益資産を掛け合わせて生まれる。まちの豊かさは建物、敷地の価値から「都市空間」や「回遊性・快適性」といったエリアの豊かさに概念を拡げ、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。中長期的な都市政策の方針である「大東市都市計画に関する基本的な方針」に掲げるまちづくりのコンセプトである1）安全・安心でいきいきと暮らせるまちづくり2）社会変化に対応する持続可能なまちづくり3）愛着と誇りの持てる魅力的なまちづくりに沿って将来像“地域がつながる魅力を伝える未来へ届ける幸せのまち大東”の実現を図る。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%	53. 7%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%	55. 7%	
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「災害等に対して安全・安心なまち」 に対する市民満足度	（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%	
住宅の耐震化	（目標値）		83.0%	86.0%	92.0%	93.5%	95%
	（実績値）	80% （平成27年度）	—	—	—	—	

【重点分野】						
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
駅前地の地価の上昇	（目標値）	18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円
	（実績値）	四条駅18万円 野崎駅 16万円 住道駅 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25.5万円	18.5万円 16万円 27万円
	（目標値）					
	（実績値）					

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和6年度の取組方針	令和6年度の取組実績
都市を経営するという基本的な考え方の下、民間投資のトリガーとなるべく、未利用な公的資産を民間に開放することを重視し、公民連携手法を駆使してエリア価値の向上をはかる。具体的には住道駅周辺については、民間事業者等と連携して都市空間の魅力創出について検討するとともに駅前デッキ、末広公園等における民間主体の取組をさらに後押しする環境を整備する。 ・野崎駅周辺については、市営深野園住宅建替えを契機としてエリア全体のまちづくりの方向性をビジョンとしてまとめる。 ・ファシリティマネジメントの観点から、公共施設等の予防保全を進めるために各施設で策定された長寿化計画を統合し全体計画の策定を進める。	住道駅周辺については、駅前デッキや末広公園等の公共空間を利用した地域活性化・賑わい創出のため、「住道駅周辺等活性化応援団」を17団体認定。各応援団のサポートや住道駅周辺活性化のための社会実験を実施するとともに、未来ビジョン策定のための住道駅周辺官民まちなか再生推進業務に着手した。 野崎駅周辺については、地元と協議を進め、市営深野園住宅の建替え基本計画を策定。また、エリア価値向上に向けた勉強会を3回開催。 ファシリティマネジメントの一貫として、公共施設の維持管理等に係る予算配分に対して、専門性かつ効果的・効率的な優先度の評価及び順位付け等を行った。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	都市整備部	部長名	村田 大亮
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

市民一人おひとりが幸せを実感でき、これからも住み続けたいと感じるまちを目指し、市民や民間のノウハウや資源と大東市が有する資源を掛け合わせ、まちの魅力の対象を「都市空間」や「回遊性・快適性」といった概念にも広げ、エリア価値を高め、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。
高齢化やSDGs等による価値観の変化に配慮しつつ、本市の強みである交通至便性や豊かな自然などを活かした魅力あるまちづくりに加え、激甚化する自然災害等に対応すべく、立地適正化計画等を有効に活用しながら安全・安心のまちを目指すとともに、都市を支える道路・橋梁・ポンプ施設等の老朽化対策等にも積極的に取り組む。
あわせて、都市の基盤を形成する野崎駅・四条畷駅周辺整備などの現在進行中の事業については、着実に推進するとともに、道路等の基盤施設の適正な維持管理に努める。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】						
危機管理の徹底						
【K P I】（令和7年度）	当初（R 2）	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
「災害等に対して安全・安心なまち」 に対する市民満足度		30. 6%	36. 4%	42. 3%	48. 1%	54%
	24. 7%	35. 6%	36. 1%	39. 3%	34. 5%	

【重点分野】

エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
駅前の地価の上昇（目標値）		18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条畷駅18万円 野崎駅16.8万円 住進駅25.5万円
（実績値）	四条畷駅18万円 野崎駅 16万円 住進駅 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25.5万円	18.5万円 16万円 27万円	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度（目標値）		18.7%	22.0%	25.4%	28.7%	32%
（実績値）	15.4%	16.6%	15.3%	19.1%	17.0%	

【重点分野】

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和6年度取組方針

令和6年度取組実績

①選ばれるまち・持続可能なまちづくり（高齢化やSDGsを意識したまちづくり）人口減少、少子高齢化に加え、市民のSDGs意識の高まりなど、社会情勢の変化から都心近郊の自然豊かで交通利便性が高い本市の魅力が再認識されると見込まれるため、交通結節点の整備等を行い、市民から選ばれるまち・住み続けたいと感じるまちづくりを進める。 ②安全・安心のまちづくり 橋梁等については、橋梁長寿命化計画等に基づき適切な維持管理を継続し、浸水対策に有効なポンプ場については、再整備に向け策定されたポンプ場更新計画に基づき事業を実施し、激甚化する地震や豪雨などの自然災害にも対応した持続可能なまちを目指す。 ③まちづくりを担う職員の育成 部全体の職員の能力向上と横断的な連携を目的とした施策検討会及び人材育成や技術力の向上及び継承のため設計審査会を継続実施する。各課においては業務の進捗状況や課題等の情報共有を徹底するため定期的に事務研究会を実施しリスクの早期発見や新規事業や業務改善などを誰もが提案可能な職場環境を整える。	①市民の移動手段の確保に向け、公共交通の路線再編のための調査を継続するとともに、龍間地域においてボランティア輸送を開始した。また、都市公園について再整備計画に則り整備等を行い、地域の望まれる特色ある公園づくりを進めた。 ②安全・安心のまちづくりの実現に向け、橋梁長寿命化計画による適切な維持管理を継続して実施した。浸水対策事業としてポンプ場更新計画に基づき深野第1ポンプ場実施設計及び寺川ポンプ場改築工事を実施した。 ③施策検討会については、都市整備部及び都市経営部各課職員が参加し、防災やDX等の情報共有等を図るとともに、設計審査会でも、都市経営部2課の参加もあり、両部3課計3案件について、人材育成や技術力の向上のため、積極的な検討を行った。また、各課においては定期的な事務研究会で現状把握を行い、必要に応じた随時の意見交換により、リスクの早期発見や業務改善等に努めた。
--	---

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	産業・文化部	部長名	中村 敬治				
1. 中長期的な取組方針							
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「6チャレンジする人と産業の後押し」に掲げる柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築、新技術などへのチャレンジ支援や、非製造業も含めた産業誘致なども検討し、ものづくり産業とそれ以外の産業が重層的かつ相乗的に地域経済を支えるまちを築く。 ・ものづくり産業と教育機関の集積という大東の強みを活かし就学から就職・勤労に至るまで切れ目なく人を育む仕組みを構築する。 ・時代の変化にも揺らぐことなく企業競争力を維持・強化できるよう、ICTの活用や大学の研究と連携した産業技術の向上などの支援を行う。 ・新たな産業誘致やスタートアップなどを後押しし、大東市を支える産業のすそ野を拡大する。 ・本市魅力資源を観光資源へと横展開し、商業（飲食店・小売店等）と結びつけることにより、地域経済活性化につなげる。 また、アフターコロナを見据えた産業振興、歴史的資源の保存や年齢を問わず学ぶ意欲を喚起する生涯学習、観光資源の磨き上げを担う観光施策を融合・連携させ、相乗効果を生み出していく。							
2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
市民の経済力の向上（目標値）		課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上
（実績値）	課税対象所得府内平均以下（平成29年）	課税対象所得府内平均以下（令和3年）	課税対象所得府内平均以下（令和4年）	課税対象所得府内平均以下（令和5年）	—		
3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
住みたい自治体ランキング 関西版（目標値）							30位以内
（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外		
（目標値）							
（実績値）							
【重点分野】							
チャレンジする人と産業の後押し							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地域職業相談室からの就職件数（目標値）		783件	888件	991件	1,096件		1,200件
（実績値）	678件	753件	762件	797件	539件（R6.12末時点）		
全産業の付加価値額（万円／事業従事者1人あたり）（目標値）							大阪府付加価値額以上
（実績値）	大東市：458万円 大阪府：585万円（H28年）	大東市：450万円 大阪府：583万円	—	—	—		
創業案件数（目標値）		45件	47件	47件	49件		50件
（実績値）	43件	53件	74件	81件	—		
「産業（商業・工業など）が元氣な活力のあるまち」と感じる人の割合（目標値）		22.0%	29.0%	36.0%	43.0%		50%
（実績値）	15.0%	20.3%	17.6%	22.4%	20.9%		
【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							
4. 令和6年度の取組方針				令和6年度の取組実績			
●本市の強みであるものづくり産業の集積を活かしながら、社会情勢や時代の変化に対応しうる柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築を図る。 ●飯盛城跡や平野屋新田会所跡の整備計画の作成を進める。 ●eスポーツの体験会や大会の実施を通じて、eスポーツが持つ可能性やその魅力を広く周知し、地域の活性化などをはじめとする社会課題の解決を図る。 ●「民間と連携した観光プロモーションの強化」「観光商品（コンテンツ・お土産・周遊企画等）開発・支援・実施及び販売（御城印等）」等を通じて、市の認知度の向上＋観光客の増加＋市内消費の促進による産業・地域の活性化を図る。				●オープンファクトリー（FactorISM）や大東まちゼミを開催し、市内企業の認知度を高め、チャレンジする人や企業のコミュニティの構築を行うことで柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築を行った。 ●飯盛城跡整備基本計画及び平野屋新田会所跡史跡整備基本設計を作成した。 ●【体験会及び大会】 eスポーツの取組みをPRし、eスポーツへの関心や理解を得るとともに、地域の活性化をはじめとする社会課題の解決を目的として開催。 ・体験会については、オペラパークや大東スポーツカーニバルと同時開催をする等、市内各地で計4回開催。 ・大会についてはキラリエホールで開催。52人の参加者が大会に出場し、幅広い世代の方が100人以上来場。 【eスポーツスポット大東】 ・1200人以上の利用者（令和7年2月時点）。 ・市内で開催される様々なイベントに出前体験会として参加。 【高齢者及び障害者体験会】 ・高齢者体験会においては、市内で活動している大東元氣でまっせ体操の活動団体（計4団体）に対し、eスポーツ体験会を実施。 ・障害者体験会においては、市内の障害者生活支援センター（計2事業者）に対し、eスポーツ体験会を実施。 ●観光商品の開発に関して、8事業者で14コンテンツの造成を行い、OTAサイトへの掲載、大阪市内の宿泊施設等へのパンフレットの配架などで市内消費促進の土壌づくりと市のPRブース出展においては市内外合わせて合計17回行い、より広域で多くの方に市の認知度向上と来訪促進を図った。 市のPRブース出展においては市内外合わせて合計17回行い、より広域で多くの方に市の魅力をPRした。 周遊型の謎解きイベントでは若い世代をはじめとした多くの方に大東市へ来訪いただける機会を造ることで、観光客の増加や市内消費の促進に寄与した。			

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	教育総務部	部長名	北本 賢一
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。
加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、発達段階で必要な「人と人との豊かな関わり」にもきめ細やかに取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減		

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】

確かな学力の向上と教育環境の充実

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						国平均以上
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.8% 中：81.9% (令和元年度)	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.5% 国 小：85.3% 中：81.8%	大東市 小：76.9% 中：79.5% 国 小：84.8% 中：83.8%	
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和6年度の取組方針

令和6年度の取組実績

【方針】「確かな学力の向上と教育環境の充実」のため、学校教育政策部との連携を図り、特に、次の政策的事業を、建設的な姿勢で取組む。

【重点取組事項】

- ①「小中一貫教育の推進と発展」のため、『（仮称）大東市立ほうじょう学園の設置に関する基本構想』を策定する。学校・地域とともに『（仮称）大東市立ほうじょう学園の施設整備方針』として、基本設計と実施計画の策定をすすめる。
- ②「学校施設・設備等の安全性の構築」のため、『大東市小中学校長寿命化計画』に基づき、学校施設の設計・工事を推進する。とりわけ、学校長寿命化工事の設計にあつては、民間事業者の提案を取り入れる仕組みに基づく対応を講じる。また、校舎・体育館の空調設備にあつては、計画的な更新・新設の整備を施す。
- ③「給食を柱とした食育の推進」のため、安全で安定したおいしい学校給食を提供するとともに食育の推進を図る。また、学校給食費のあり方にも注視し、保護者の経済的負担の軽減にあつては、具体的な取組みを推進する。
- ④「徹底的家庭応援」のため、家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。とりわけ、「家庭教育支援事業」は、アウトリーチ型・サロン型・セミナー型の取組みに加え、学校・家庭・地域の担い分けの方針を構築する。
- ⑤引き続き、教育委員会会議の議事改革をすすめるにあたり、会議配信を行うとともに、会議活性化の方策を講じる。
- ⑥青少年教育センターは、青少年の健やかな育成と人権意識の高揚を図るためのものとの認識に立ち、安全への配慮と運営の活力を図る。

- ①『（仮称）大東市立ほうじょう学園の設置に関する基本構想』を策定し、プロポーザル方式により施設整備方針策定業者を選定した。検討委員会や地域説明会等を開催し、施設整備方針の策定に向けて多様な広報と意見聴取を実施することができた。
- ②長寿命化改良工事（諸福小・南郷小）に着手するとともに、住北小設計業務は質の高い設計図書を完成させた一方で、再発注が必要となった四条北小設計業務はプロポーザル方式により業者選定を行い、業務に着手した。3小学校空調更新工事（深野小・三箇小・四条小）及び4小学校体育館空調工事（四条小・四条北小・泉小・三箇小）について、工期通り整備が完了した他、必要な改修工事を実施した。
- ③令和6年10月以降、学校給食費無償化を実施するとともに、食材費が高騰する中で所要額を確保し、安全で安定した学校給食を提供するとともに、地産地消の推進や実践的な食育授業の交流研究等を通じて食育の推進を図った。
- ④家庭教育支援事業では、保護者の孤立防止、課題の早期発見、学習の機会や情報提供などを図るため、小1保護者に対してのアウトリーチ型支援、いくカフェのサロン型支援、講演会のセミナー型支援を実施した。小4保護者に実施している家庭教育に関する状況把握調査において、学校・家庭・地域における教育の担い分けの調査を実施した。
- ⑤教育委員会会議の活性化に向け、教育委員会会議規則の一部改正し、新たな構成にしたうえで、国の「デジタル田園都市国家構想交付金」の交付を受け、12月に会議の録画配信をスタートすることができた。
- ⑥青少年教育センターでは、子どもたちにとっての居場所づくりとなるように、学習やスポーツをはじめとした自主的活動を支援し、また互いに認め合える人間関係を構築できるよう、人権教育に関する取り組みにも力を入れ、利用環境については日頃から十分な安全対策を講じるなど、子どもたちが安心して利用できる施設運営に取り組んだ。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1 (方針)

部名	学校教育政策部	部長名	渡邊 良
----	---------	-----	------

1. 中長期的な取組方針

第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。

加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、各発達段階において必要な「人と人との豊かな関わり」について、きめ細やかに取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減		

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】

確かな学力の向上と教育環境の充実

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						100以上
全国学力・学習状況調査の標準化得点（実績値）	小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：98 数学：97 (令和元年度)	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 数学：98	小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：99 数学：98	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 数学：98	小学校 国語：97 算数：99 中学校 国語：98 数学：97	
不登校（学びへアクセスできていない）児童・生徒数（目標値）						0人
（実績値）	24.2‰	27.2‰	261人 (学びへのアクセス)	92人 (学びへのアクセス)	—	
（目標値）						国平均以上
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国：85.8% 中：81.9% (令和元年度)	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国：85.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.2% 国：85.3% 中：81.8%	大東市 小：76.9% 中：79.5% 国：84.8% 中：83.8%	

4. 令和6年度の取組方針

「令和の日本型学校教育」として示されている「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」を実現する。その際、以下7点を「重要取組み事項」とする。

①「学力向上」
学習・授業の質的向上を図り、その先にある学力向上を全ての取組みの柱とする。「大東教育ビジョン2025」を策定し、一層の授業改善を行う。

②「ICT活用」
GIGAスクール構想4年目となる一人一台端末の活用は、学力向上に結び付く活用でなければならず、「効果的かつ日常的かつ主体的」に児童生徒が活用できるよう、ICT教育戦略課と教育研究所間連携を強化する。

③「不登校支援」
施設検討を含めた教育支援センター「ボイス」拡充及び全校において校内教育支援ルームを整備する。将来の社会的自立へとつなげるべく、引き続き「学びにアクセスできていない児童生徒0」に向けた取組みを行う。

④「業務環境の改善（働き方改革）」
市教育委員会作成リーフレットの活用促進、出退勤システム導入による時間外勤務管理を各校と連携して行う。教頭マネジメント支援員の効果測定他、昨年度にしかけた取組みの検証を行う。

⑤「（仮称）ほうじょう学園構想」
市教育委員会主導で、北条小・中学校教職員と連携したWSを立ち上げ、引き続きカリキュラム等ソフト面の研究を行う。

⑥「休日部活動の地域移行（魅力的な部活動の構築）」
関係各所との連携を強化し「仕組み化」することで持続可能な部活動を構築する。

⑦「『大東市を知る、愛する、活用する』体験学習の充実」
商工会議所や関係各所と連携し、家庭を含めた学校外の学びを充実させる。
上記7点他、年間を通じた種々の業務遂行において、各課各職員のモチベーションを維持・向上させるべく、今年度の部スローガンを「Do it right 24！」とする。

令和6年度の取組実績

「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」を実現するために、「Do it right 24！」の部スローガンのもと、各課職員が主体的かつ計画的に業務に向き合い、年間を通じて以下7点を重点として、取組みを推進した。

①「学力向上」
昨年度同様、各学校の授業の質的向上を図ることができた。併せて授業づくり・指導方法の「パイプ」・「手引書」となる「だいたい教育ビジョン2025」を策定したことで、次年度からの活用により一層の授業改善、ひいては学力向上を図る。

②「ICT活用」
授業改善の一つとして、一人一台端末を「効果的かつ日常的かつ主体的」に活用することができた。次年度は児童生徒個々に一層の自己調整力を身に付けさせる必要がある。

③「不登校支援」
目標としていた「全校に校内教育支援ルーム設置」を達成することができた。次年度は、本ルームを各学校が一層整備し、校内における居場所の選択肢の一つとして効果的に活用できるよう、周知含め活用推進を図る。「学びにアクセスできていない児童生徒0」については、昨年度より目標に近づくことができた。

④「業務環境の改善（働き方改革）」
「業務改善リーフレット」の浸透や、教頭マネジメント支援員の活用等により、市内小学校教員の平均時間外在校時間は縮減した。中学校教員については引き続き各校において業務環境改善を図る。教頭マネジメント支援員配置は大きな成果であった。

⑤「（仮称）ほうじょう学園構想」
ソフト面の検討機会として教員ワークショップを年間複数回実施できたことで学校現場の「声」「思い」を施策に反映することができた。

⑥「休日部活動の地域移行（魅力的な部活動の構築）」
全国から多数の視察を受け入れ、本市の取組みの方向性が注目を得た。引き続き「持続可能な」休日部活動の地域移行を計画的に展開する。

⑦「『大東市を知る、愛する、活用する』体験学習の充実」
「ふるさとジュニア検定」のデジタル化や「市内職業体験マップ」のリニューアル等により、郷土愛の醸成や体験学習の一助となった。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	上下水道局	部長名	岡田 学
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針 「幸せデザイン 大東」（第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）のまちづくりの理念である「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」に基づき、水道事業においては、令和2年度策定した水道ビジョンの基本理念を「いつまでもつづく『幸せのまち』を支える水道」とした。基本方針の《安全》安全でおいしい水の供給、《強靱》いつでもどこでも安定した給水の確保、《持続》適正な維持管理と経営基盤の強化を実現するため、アセットマネジメントに基づく事業を実施し、災害に強い水道の構築を目指す。又、下水道事業においては、「大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、重要度の高い施設から順次、点検・調査及び修繕・改築を実施し、下水道施設の長寿命化によりライフサイクルコストの低減を図り、良質な下水道サービスを持続的に提供することを目指す。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%	
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%		
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかるもの）（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%	
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%		
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和6年度取組方針	令和6年度取組実績
水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、重要拠点配水管路及び配水場内施設更新・耐震化事業を実施していく。 下水道事業においては、施設の延命化・長寿命化を図るため、「第1期ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき、令和5年度に実施した詳細設計を基に、改築工事を実施する。また、「第2期大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、調査業務を実施する。	水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、重要拠点配水管路更新事業として、3件の更新工事（L=335m）を実施した。配水場内施設更新・耐震化事業としましては3件の施設更新工事を実施し、1件の耐震化工事については継続中です。 下水道事業においては、「ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき予定していた改築工事を完了させ、施設の延命化・長寿命化を図ることができた。また、「第2期大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、調査業務を完了した。今年度実施した調査業務により施設の延命化・長寿命化を推進していく。

令和 6 年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式 1－1（方針）

部名	議会事務局	部長名	竹中 慎太郎
----	-------	-----	--------

1. 中長期的な取組方針

令和 6 年は 4 年に一度の市議会改選年にあたり大東市議会として心機一転の年となる。これまで以上に市民の関心度は高まることが予想されることから、さまざまな市民の声を聞き、市政に反映していく市議会の役割はより一層重要となってきた。このことから市政の発展並びに市民の福祉増進に十分寄与できるよう議会事務局自体の機能強化及び事務の効率化を図ることが必要である。また「開かれた議会」の実現を目指すべく「見える化」を推進し、令和 6 年度においては本会議等での同時翻訳機能を導入するなど、今後も議会運営においてトレンドになるであろう機能を中長期的な視点で取り組んで参ります。また市民の皆さまに関心をお持ちいただけるよう積極的な情報発信に努め、傍聴や出前議会報告会等の市民参加型の市議会を推進して参ります。引き続き、ICT を活用した新たなサービスの調査研究を行い議会運営力の充実と円滑な市政運営に取り組んで参ります。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R12 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和 7 年度）

【重点分野】

エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出

【KPI】（令和 7 年度）	当初（R2）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
住みたい自治体ランキング 関西版（目標値）						30 位以内
（実績値）	ランク外	86 位	ランク外	ランク外	ランク外	
議会改革度自治体ランキング（参考）2020 議会機能強化 262 位（目標値）						30 位以内
（実績値）	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外	

【重点分野】

総合戦略の推進を下支える体制（行政サービス改革）

【KPI】（令和 7 年度）	当初（R2）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
「インターネットや SNS により必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	
ICT を活用した業務の効率化（議会のオンライン会議）（目標値）		10%	20%	30%	40%	50%
（実績値）	0%	10%	20%	30%	40%	

【重点分野】

【KPI】（令和 7 年度）	当初（R2）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和 6 年度の取組方針

令和 6 年度の取組実績

・二元代表制の一翼を担う議会がその責任と役割を十分に果たし、市民の声を聞き、市政に反映できるよう、議会機能を有効に発揮し、市政発展に寄与できるようきめ細やかなサポート体制を強化します。
・通年議会導入のメリットを最大限活用し、必要とする議決審議のタイミングを逸することなく迅速に対応し、市政運営に議会の意思が反映されるよう、議会と理事者間の橋渡し役として調整を行います。
・大東市議会公式 SNS を令和 6 年度においても市民に関心をもっていただくため情報発信を積極的に努めていく。特に関心度の低い、若者世代にターゲットを絞り、フォロワー数と共に関心度を高め、若者の議会参加に繋げていきます。
・議会の「見える化」を推進し令和 6 年度においては同時翻訳機能を本格導入。市民が見て、聞いて理解していただける「わかりやすい市議会」を目指して参ります。引き続き議会運営上で有益となる機能については早期導入に向けて調査研究を行い、大東市議会全体で議会力向上に努めます。

・令和 6 年は市議会議員の改選期にあたり、新たな議員構成のもと大東市議会が始動した。年 4 回の定例会議のほか、通年議会導入のメリットを活用し、令和 6 年度においては 9 月に通年議会を開催し必要とする議決審議のタイミングを逸することなく迅速に対応することができた。
・議会公式 SNS（Instagram・X（旧 Twitter））では、令和 6 年度も引き続き運用し、本会議ごと、委員会ごとにきめ細やかな議会日程を市民に周知すると共に、市議会の日々の活動なども積極的に SNS で発信し、市民に親しまれる市議会へと近づくことができた。また令和 6 年度途中より同時翻訳機能システムを導入し、市民が見て、聞いて、理解していただける「わかりやすい市議会」となった。
・議会傍聴招待及び議場講演、コンサートを定期的開催。またコロナ禍で延期となっていた出前議会報告会を再開し、市民が議会と直接触れさせていただくことができた。市民の方に興味をもっていただき本市議会が目標としている「開かれた議会」にまた一歩近づけることができた。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局	部長名	藤田 正登
----	-----------------------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
第5次大東市総合計画における考え方の一つである「財政基盤強化の考え方」において、今後の行政運営については、新しい取組みに積極的に取り組む一方で、既存の取組みについては不断の見直し・再編を行うとされており、選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局においても、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて乗り遅れることの無いよう、昨年度に引き続き常に各方面の動向に注目し、総合戦略を着実に推進していく。そのために生活圏域の視点に立った近隣自治体等との連携の検討を進める。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度	
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
	（目標値）							
	（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）	24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%
ICTを活用した行政サービスの提供（選挙事務にかかるICTの活用）	（目標値）	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50%
	（実績値）	0%	0.0%	20.0%	25.0%	25.0%

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R 2）	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和6年度の取組方針	令和6年度の取組実績
①選挙管理委員会事務局は、選挙権を有する全ての方に対し、SNS等を活用した情報提供の強化を図り、また利便性の向上につながる投票環境の整備に向けた更なる取組みについて、調査・研究を行う。 ②監査委員事務局は、令和5年4月の文書管理・電子決裁システムの本格稼働により、各部署からの紙媒体での資料提出を電子媒体へと切り替え、監査準備期間の縮減を図ることで、監査対象案件について、より深く詳細チェックを行い、監査の精度を高める。 ③公平委員会事務局は、他市の多様な事例研究に努め、有事の際に迅速な事務処理が行えるよう、柔軟な執行体制を構築する。	①期日前投票期間中にHPの更新やSNS等の投稿を毎日に継続して行い、有権者に対する選挙情報の提供を強化し、投票意欲の向上を図った。明るい選挙啓発ポスターコンクールへの応募者数の増加を目指し、市内5箇所の高校へ足を運び、参加を直接呼び掛けて、一層の選挙啓発の推進に努めた。 「親子投票」及び「電子投票」の先行実施自治体への聞き取りを通じ、導入可否の検証を多角的な視点から行い、現在も問題点の把握・整理を実践中。 ②文書管理・電子決裁システムの新たな稼働により、各部署からの監査対象資料の迅速かつ正確な点検が可能となり、また、従来の膨大な紙資料が削減された事で、物理的な労力の解消も実現した。

令和6年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	会計室	部長名	川口 克仁
----	-----	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を下支えする体制（行政サービス改革）を進める方向性として、強靱な財政基盤の確立を図るとともに、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて不断の改革を行うことが示されている。会計室においては、確実な資金管理の下、安全性を重視した効率的な資金運用を実施し、財政基盤の強化に寄与する。また、税公金納付のキャッシュレス決済拡充や公共料金支払いの一括口座振替化を関係部署と連携して実施し、デジタル化により市民の利便性向上や事務の効率化を図る。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%		
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%		
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手順のオンライン化	（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
	（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%	
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和6年度取組方針	令和6年度取組実績
●全庁の各種公共料金支払いに一括口座振替サービスを導入して支払いを一本化し、事務の効率化及びペーパーレス化を図る。 ●安全で効率的な資金運用を実施するため、積立基金の一括運用による債券運用に取り組み、運用収入の増加を図る。	●公共料金の支払いにおいて一括口座振替サービスの導入が完了し、事務の効率化及びペーパーレス化に寄与することができた。 ●基金の一括運用を行い、一定の利息収入を確保した。リスク管理を強化するため、資金運用ガイドライン案を策定し、次年度以降の積極運用の基盤を整備した。